

小林正人『「景気循環」研究序説 ―資本主義経済において景気循環は必然的か―』

第3章 景気循環と設備投資競争に関する理論的説明

用 語

「量産効果」 P23 L3

製品の生産量を増加させることで生産性が向上し、製品 1 単位当たりの製造原価が低下すること。これにより企業は価格競争力を高めることができる。

「フルライン政策」 P23 L14

メーカーが生産ラインを稼働させる際、特定の製品に絞り込まず製品群に関連した幅広い製品を製造して市場全体をターゲットにする戦略。この戦略を採用した例として GM は大衆車から高級車まで価格別の車種を生産し多品種化を行った。あらゆる顧客のニーズに応えることができる利点があるが、大量の経営資源が必要なためこの戦略を実行できる企業は限られる。

「流動性選好」 P29 L32

流動性とは、商品などの資産をいつでも適正な価格で換金できるかを示す度合いのことをいう。貨幣が最も流動性が高いので、貨幣そのものを指すことが多い。できるだけ流動性の高いものを保有したがる性質を流動性選好という。

「パレート最適」 P33 L33

他の経済状況を悪化させることなしには、いかなる経済状態を改善することができない状態のこと。資源利用に無駄のない最適な状態をいう。イタリアの経済学・社会学者ヴィルフレド・パレートが提唱した、資源配分に関する概念。